



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547

住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール: kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



年度初めのご挨拶

病院長 脇田 富雄



日頃より当院ならびに関連施設の運営に、ご支援とご協力を頂き感謝申し上げます。また、医師会の先生方ならびに地域の保健・医療・介護・福祉に携わっておられる皆様方に厚く御礼申し上げます。

令和3年度の新型コロナウイルス感染症第5波が急速に収束した頃は、ワクチン接種による集団免疫が確立され、落ち着いていくのではないかと若干の期待もしましたが、オミクロン株の拡大による第6波はピークは過ぎたようですが、高止まりの状態が続いております。今後の状況についてはまだまだ予測困難なところがありますが、ウィズコロナの中、アフターコロナを見据えて、上天草総合病院としては、上天草地域の市立病院としての役割を果たすべく、市民の皆様、連携施設の皆様のために、保健・医療・介護その他の提供を継続して行っていく所存です。どうぞ、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

当院は「地域医療拠点病院」に指定されておりますが、「地域医療拠点病院」として地域の連携体制をさらに発展させていくために、取り組んでいく必要があります。これまで通り、医師会の先生方からの紹介患者に対する検査その他の提供を行い、診療所への支援として医師派遣(現在、湯島へき地診療所へ常勤医を派遣し、教良木診療所へは週3回の外来診療の支援、また御所浦診療所への週1回の眼科外来診療支援)も

継続していきます。地域医療研修の研修医や専攻医の教育にも携わっており、勤務環境改善に向けた取り組みも行っています。上天草という広い地域の中で医療機関、介護施設等との連携強化のため、くまもとメディカルネットワークによる情報共有を図っていく取り組みを行っています。地域での少ないマンパワーを最大限に活かして医療・介護の提供・展開するためには、やはりIT、ICT、IoT、AIなどの情報通信技術を活用していくことが大切だと考えます。住民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域包括ケアシステムの推進するための医療・介護の連携を、上天草という広い地域でIT・ICTといった情報通信技術を活用しつつ、行っていききたいと思います。また、IT、ICT、AIなどの技術を用いて、在宅医療サポートセンターとしての活動を推進していききたいと思います。人口減少が進む上天草地域で情報技術の一つ一つを整えながら、医療・介護のニーズ応えていききたいと思います。

今後も、保健・医療・介護・福祉に関わる多くの施設・職種の方々と連携しながら、住民の皆さん、患者さんやその家族に寄り添い支えあえる医療機関として運営を行っていきたく考えております。今後、新型コロナウイルス感染症が少しでも早く終息し、平穏な日々が訪れる事を願って、また皆様方のご協力ご支援をお願い申し上げます。

赴任のご挨拶

ふるしま きょうか
眼科 古島 京佳



はじめまして。2022年4月1日付で上天草総合病院に赴任となりました古島京佳と申します。

私は熊本大学医学部医学科出身で、卒業後、初期研修医として2年間の初期研修を修了後に、熊本大学病院眼科にて後期研修医として1年勤務し、今回、熊本大学地域枠としての赴任となりました。

上天草総合病院は自治医科大学出身の先生方の赴任は多々あるとお聞きしましたが、今回熊本大学地域枠からの赴任は初めてだそうです。

熊本大学地域枠とは、熊本県の医師確保のため県が平成21年に設立した制度です。具体的には、在学中に熊本県医師修学資金の貸与を受け、卒業後、知事の指定する地域の病院などで、勤務する規定となっております。地域医療を行う医師、というと内科医のイメージを持たれる方が多数いるかとは思いますが、私は眼科医としての赴任となります。

眼科という職業は、患者様の見え方を良好に保つことで、生活の質（Quality of Life）を向上させることのできる仕事です。（もちろん一筋縄ではいかない症例も多々ございますが…）脳に伝わる情報の8割が視覚からの情報を占めているという話もあります。そのような視覚を改善することでQOLが大きく向上することができます。

例えば、眼の中のレンズが濁ってしまい、見えなくなる白内障という病気がございます。今まで白内障で、身の回りが見えないことによって、生活を一人の力では送ることができず、歩くのも困難だった患者様がいました。その方が、手術によって身の回りが見えるようになり、迷わず足を踏み出す姿を見て、眼科医という職業を選んで良

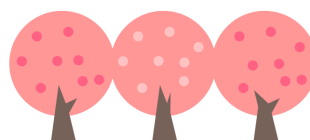
かったと感じたこともあります。

白内障に限らず、上天草市民の皆様のお眼科診療にあたることで、市民の皆様の視界をできるだけ良く保ち、上天草市の美しい景色を楽しめるような質の高い生活を皆様が送れば幸いに存じます。

4月からの月曜は熊本大学病院眼科での網膜外来、水曜日と金曜日は上天草総合病院で眼科外来を担当させていただく予定ですので、よろしくお願いいたします。

今回、上天草総合病院に赴任することで、上天草総合病院創立以来はじめての眼科医2人体制となります。赴任前の2022年1月より、2週に一度、上天草総合病院の水曜日の眼科診療を熊本大学病院の医師として担当しておりました。私が上天草総合病院で診療に当たっている際にも、患者様のお言葉などから、上天草市民の皆様と竹下先生との深い信頼関係を感じることも多々ありました。そのような関係性の中で、私のような新参者が外来を担当することに些か不安はございます。また、患者様にも不信感を与えてしまうこともあるかもしれません。しかし、できる限りの最善を尽くして真摯に診療に当たりたく存じます。

そんな住民の皆様様に信頼され、熊本県内でも有数の白内障手術数を誇る竹下先生や、他診療科の先生方のお力を借りながら、また、地域住民の皆様様に助けられながら、今後とも精進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



就任のご挨拶

地域医療支援部長 細川 貴規



前地域医療支援部長 城野英利先生の退職に伴い、4月1日付で、引継ぎ就任致しました細川貴規（ほそかわ たかのり）と申します。

私は、2021年5月1日付で、上天草市立上天草総合病院・内科・腎臓内科に着任致しました。趣味は多く、天体観測（最近観望）鉱物収集、砂金掘り、温泉巡り、写真、カメラ（オールドレンズ収集）、最近では釣を始めました（専ら、竿の素振りばかりですが、先日は船で桜鯛を釣りに、当院の先生やスタッフの方々に連れて行ってもらいました）。

生まれは、四万十川が流れる高知県四万十市（旧中村市）で、その後高知市に転居し、現在の高知大学医学部卒で腎臓・膠原病・代謝・内分泌を専門とする医局に所属していました。

「腎臓内科です」と自己紹介すれば、透析とか腎結石の・・・などと思われそうですが、少し違います。腎臓内科は、局所の疾患ではなく、全身の疾患の中の腎臓であり、あらゆる内科疾患で腎臓に病変が及ぶ疾患（急性・慢性の腎臓病）に係わります。所謂、総合内科の

目で診て診察する必要がありますし、各科の先生方や医療機関、時として国の研究所との連携も必要でした（Hosokawa Takanori SFTSで検索してみてください）。それは、腎疾患が単独臓器の疾患でなく、全身の疾患の1臓器疾患だからです。糖尿病・高血圧・膠原病・肝疾患・感染症等々、あらゆる全身疾患の直接的・間接的な影響が及んだ上での腎疾患で、治療には食や生活環境も含めた広域の連携・協力も必要な疾患が多いです。

さて、今回拝命した役も、上の様な腎疾患と同様かそれ以上に、連携が必要な部分が似ていると思います。それは、当院と他の医療機関様の各科の先生方やスタッフの方々・医療施設様・連携する介護施設様との相互方向の連携・情報の授受をはかり、当院の外来受診・各種医療機器の御利用・検査での受診、あるいは紹介患者様の入院等を通じ、ご紹介頂いた患者様が軽快し、ご紹介頂いた先生方の御加療の元、日常生活が過ごせる様に、また掛かり付けの先生方の日々の診療のお役に立てる様な地域医療支援部の一員としての役割を果たしてゆく所存で御座います。

研修会・勉強会の行事予定表

4月7日(木)	(学研・基礎研修) フィジカルアセスメントの戦術 ～どう着目し、どう進めるか～	15:00～ 当院6階講堂
4月15日(金)	心臓リハビリテーション教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	14:00～ 当院6階講堂
4月22日(金)	がんサロン 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	13:30～ 当院6階講堂

編集後記



○新年度が始まりました。
新たな気持ちでこの一年過ごしていきましょう！
さて、私はこの号が発刊される頃には、当院を退職しております。この場を拝借してお礼を申し上げます。
13年10か月の外科医勤務、地域医療支援部長を拝命して3年、長いようであつという間でした。本当にお世話になりました。（城野）



4月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 林 広隆 小野 悠美	岸川 秀樹 和田 正文 原田 裕士 松田 圭史	林 広隆 小野 悠美 中村 太造	和田 正文 原田 裕士 高柳 宏史	細川 貴規 原田 裕士 小野 悠美	
	※4/1(金)の細川医師の外来診療は休診となります。 ※4/1(金)の小野医師の外来診療は休診となります。					
代謝内科	※阪口 雅司	-	-	岸川 秀樹	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
脳神経内科	-	-	-	林 広隆	-	
	※毎週木曜日、予約制の診療(午前)となります。					
腎臓内科	-	-	細川 貴規	-	-	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	-	-	脇田 富雄	
消化器内科	坂口 将文	坂口 将文	-	-	-	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	船曳 哲典	船曳 哲典	
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 (再診のみ) 村上 直也	藤松 晃一	村上 直也	4/22(金)
	※毎週火曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の藤松医師の診療は再診のみとなります。					
耳鼻咽喉科	-	※熊大	-	※熊大	※熊大	
眼科	粟井 麻衣子	竹下 哲二	古島 京佳	竹下 哲二	古島 京佳	
皮膚科	-	-	-	江頭 翔	-	
泌尿器科	-	西 一彦	-	-	西 一彦	
超音波・ 内視鏡センター	坂口 将文	坂口 将文	※松野 健司		※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
	※午後は、13時～16時30分までの受付です。					
教良木診療所 応援	林 広隆 (午後)	中村 太造 (午後)	応援	応援	小野 悠美 (午後)	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。